

Handwritten calligraphy in vertical columns, likely the title of the book.

三  
年  
三

2944  
11



八三  
2944  
11



三  
林  
一  
龍  
刺  
文  
刺

龍  
重  
堂  
針

和  
九  
月  
九  
日  
購  
末



千本万巻  
やまのあんど

二十二年

五  
五

上別屋板

錦重堂

上別屋板



傳文庫  
三拾一編

上唐

錦重堂

錦重堂

五

倭文庫三拾編

嘉永八年  
乙卯孟陽  
新刻

万亭應賀作  
歌川國貞画

什題四方圖画



上



下

錦重堂版

上重板

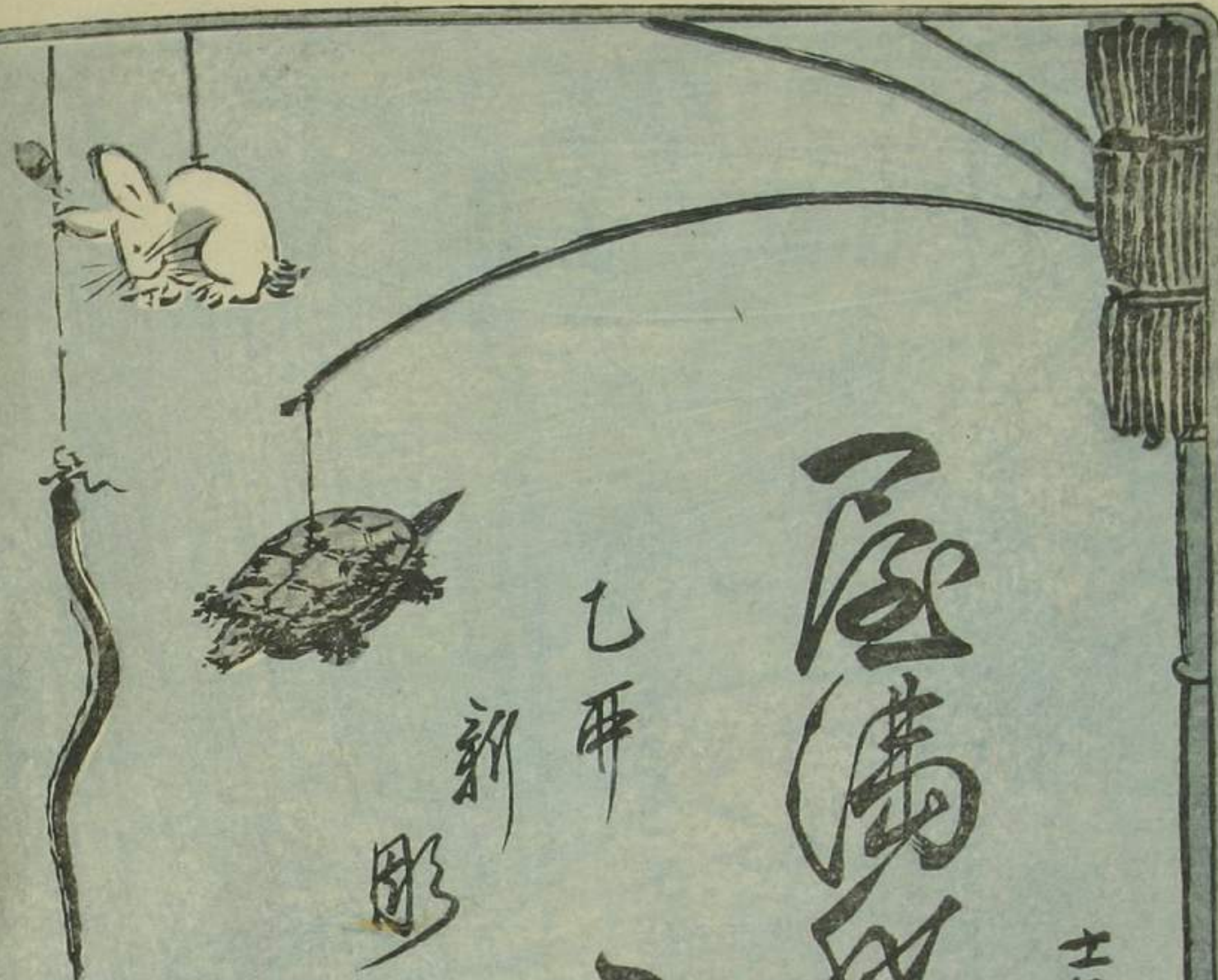
# 辰満紅文庫

七冊 三拾巻編

新形 下の巻

万の作

一巻の巻



三 一 四

釋迦八相倭文庫三拾壹編序

夫貪人の積取多く得たる厭足を不生無明顛倒の心常に他  
と侵損せんと念現在世怨憎多く身を捨て悪道に墮すと  
と誠これ金言なるかの恐慎むべしと有りされば舍衛國の長  
者須達多事の諸書小教説小紙小書と奉ぐさけ  
さへ流す其二三と撰擬して長者の婢女未利夫人与五不男  
の因果にりつぎ都提の為小摩迦加葉の名を仮その婢史  
も神儒佛道の三をあらんで作出せる本文史面白かる巻なり  
あまし是流行と宗とせ只勧善の道と立る故諸君その素朴  
るを見捨れとるれと爾云

万亭應賀誌

嘉永八乙卯年正月吉辰

倭文庫三十一



舍利弗

如来

卷之二十一



如来金衛國の  
摩迦迦葉

都提伏

藏の

掘せて  
須達長者

小前世  
と語り

五人

須達  
長者

大迦葉



須達長



須達長  
 者の炊女  
 未利夫人  
 波斯匿王の  
 后の刀を  
 入内の砌で  
 前世の仇人  
 五人の扇提羅の  
 玉の輿を  
 昇る

須達長



鳥の鳴き声  
 水辺の静けさ  
 舟の揺り動かす  
 女の手元  
 舟の奥  
 舟の先  
 舟の側  
 舟の上  
 舟の下  
 舟の中  
 舟の外  
 舟の周  
 舟の境  
 舟の隅  
 舟の底  
 舟の頂  
 舟の面  
 舟の背  
 舟の腹  
 舟の腰  
 舟の脚  
 舟の手  
 舟の首  
 舟の尾  
 舟の鼻  
 舟の口  
 舟の目  
 舟の耳  
 舟の鼻  
 舟の口  
 舟の目  
 舟の耳

舟の揺り動かす  
 女の手元  
 舟の奥  
 舟の先  
 舟の側  
 舟の上  
 舟の下  
 舟の中  
 舟の外  
 舟の周  
 舟の境  
 舟の隅  
 舟の底  
 舟の頂  
 舟の面  
 舟の背  
 舟の腹  
 舟の腰  
 舟の脚  
 舟の手  
 舟の首  
 舟の尾  
 舟の鼻  
 舟の口  
 舟の目  
 舟の耳



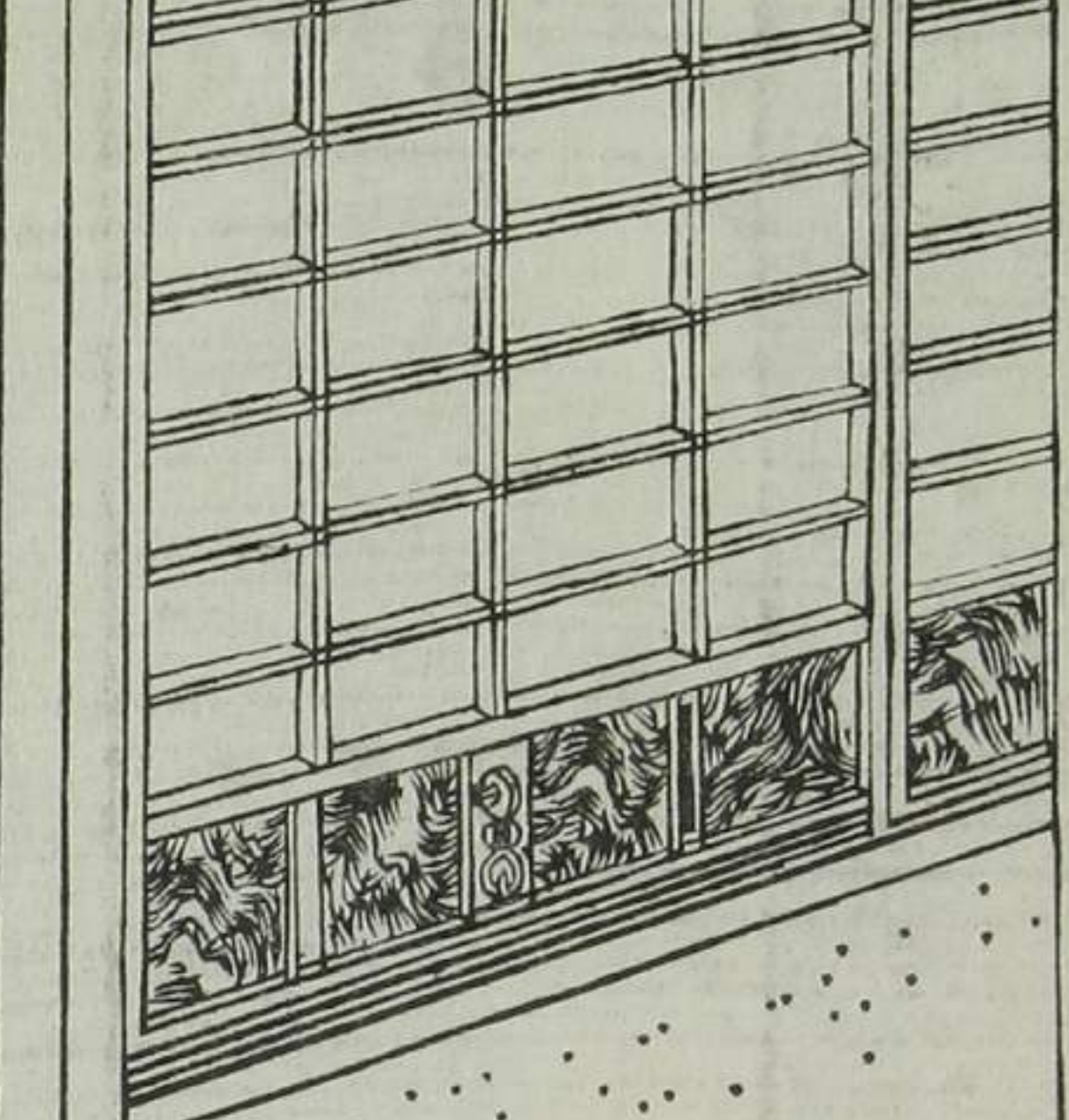
舟の揺り動かす  
 女の手元  
 舟の奥  
 舟の先  
 舟の側  
 舟の上  
 舟の下  
 舟の中  
 舟の外  
 舟の周  
 舟の境  
 舟の隅  
 舟の底  
 舟の頂  
 舟の面  
 舟の背  
 舟の腹  
 舟の腰  
 舟の脚  
 舟の手  
 舟の首  
 舟の尾  
 舟の鼻  
 舟の口  
 舟の目  
 舟の耳

舟の揺り動かす  
 女の手元  
 舟の奥  
 舟の先  
 舟の側  
 舟の上  
 舟の下  
 舟の中  
 舟の外  
 舟の周  
 舟の境  
 舟の隅  
 舟の底  
 舟の頂  
 舟の面  
 舟の背  
 舟の腹  
 舟の腰  
 舟の脚  
 舟の手  
 舟の首  
 舟の尾  
 舟の鼻  
 舟の口  
 舟の目  
 舟の耳



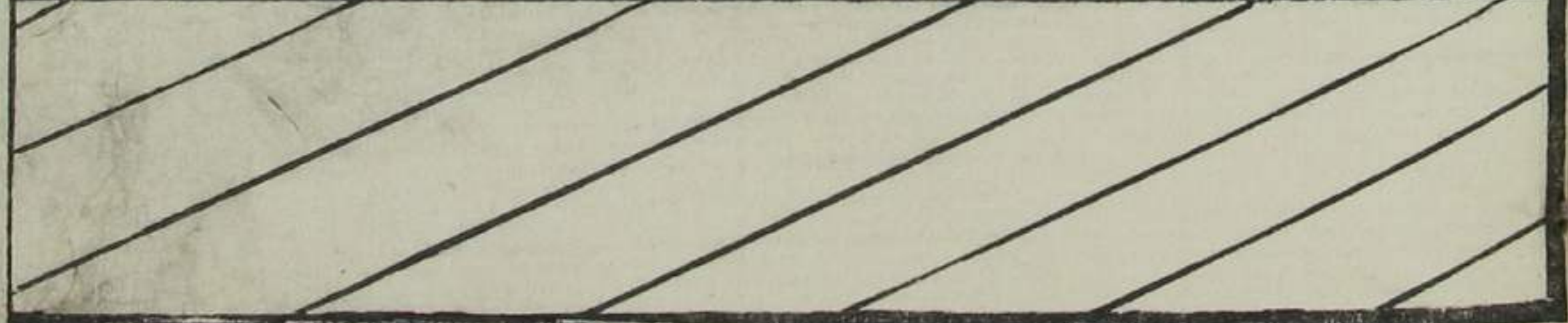
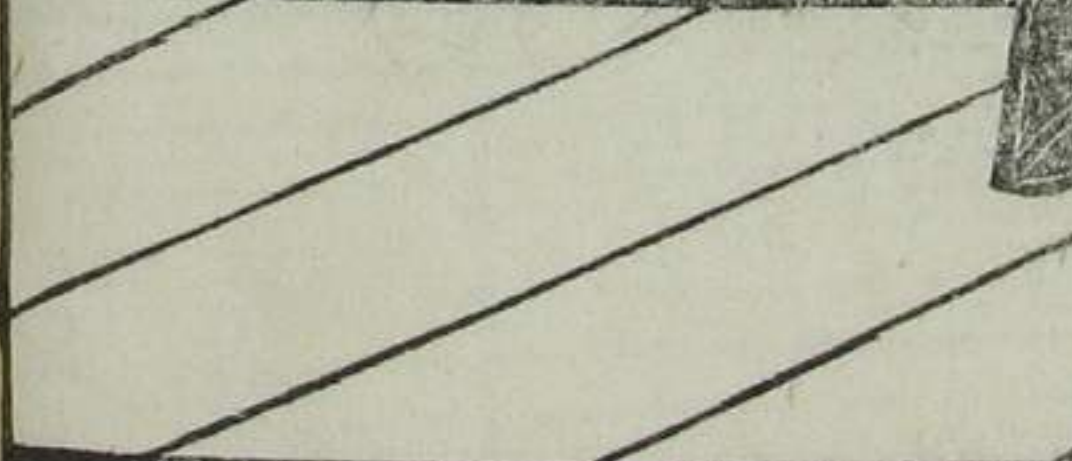
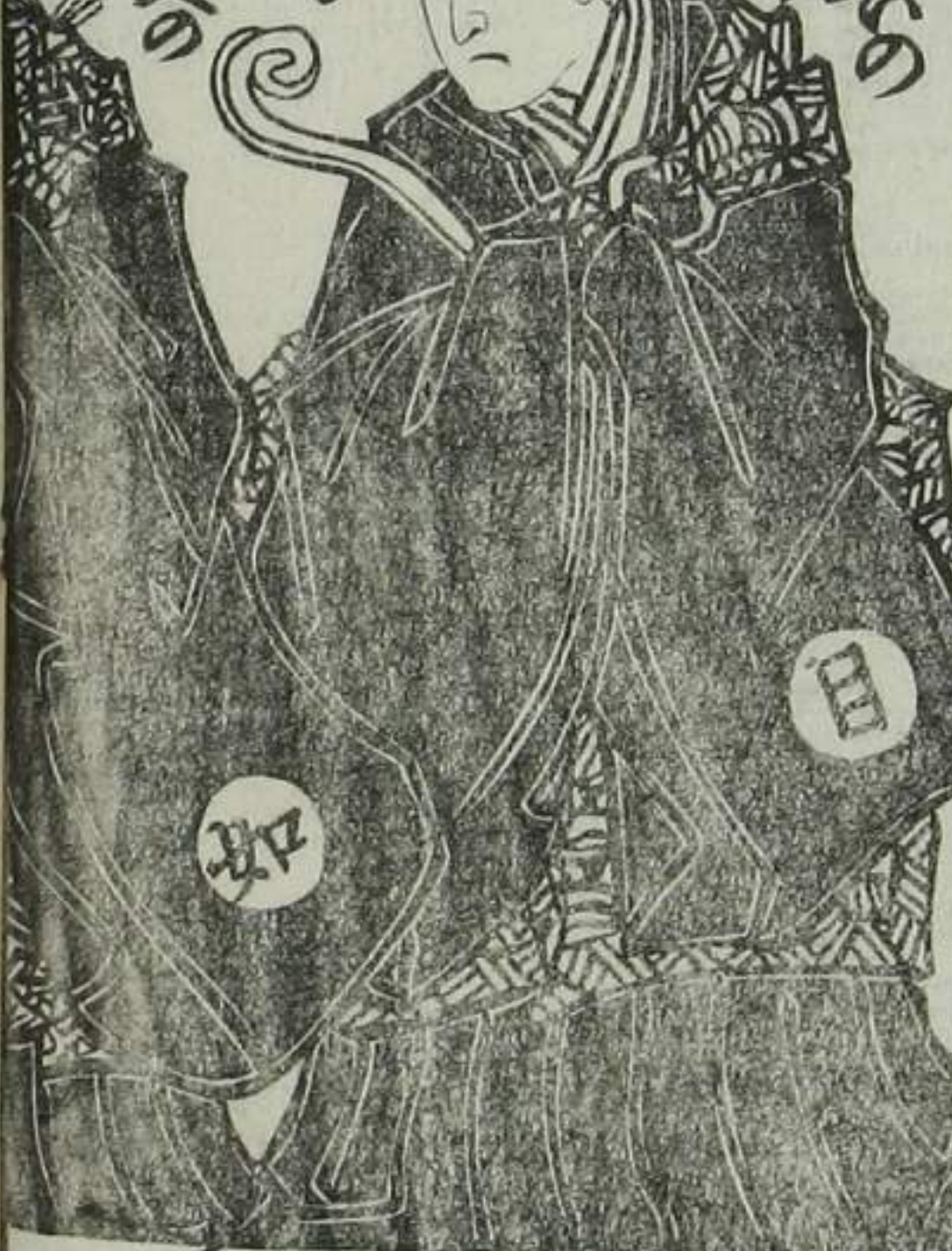


○大いかにまをみるも  
ひてあましくなる  
わご大い如木の  
さうものさへを  
まごふらさるる  
まてけれは如来  
大いうちひらいて  
るひち財を  
まのひち財を生々  
世うせり大い  
るのまを大い  
ふりひらきま  
まのまを大い  
まのまを大い



○大いかにまをみるも  
ひてあましくなる  
わご大い如木の  
さうものさへを  
まごふらさるる  
まてけれは如来  
大いうちひらいて  
るひち財を  
まのひち財を生々  
世うせり大い  
るのまを大い  
ふりひらきま  
まのまを大い  
まのまを大い

○大いかにまをみるも  
ひてあましくなる  
わご大い如木の  
さうものさへを  
まごふらさるる  
まてけれは如来  
大いうちひらいて  
るひち財を  
まのひち財を生々  
世うせり大い  
るのまを大い  
ふりひらきま  
まのまを大い  
まのまを大い







徳川御三代



徳川御三代



五百日の女...  
 のり...  
 ...  
 ...

この鳥の...  
 ...  
 ...  
 ...

か...  
 ...  
 ...  
 ...



あま...  
 ...  
 ...  
 ...

と大...  
 ...  
 ...  
 ...

この...  
 ...  
 ...  
 ...

信文五十五



信文五十五

# 應賀作 國貞画



如木の如く...  
如木の如く...  
如木の如く...

如木の如く...  
如木の如く...  
如木の如く...



如木の如く...  
如木の如く...  
如木の如く...

如木の如く...  
如木の如く...  
如木の如く...

如木の如く...  
如木の如く...  
如木の如く...

Handwritten notes in the right margin of the left page.

Top section of handwritten Japanese text on the left page.



Bottom section of handwritten Japanese text on the left page.

Top section of handwritten Japanese text on the right page.



Bottom section of handwritten Japanese text on the right page.

Vertical page number on the left edge of the left page: 女八冊三十一

Small vertical mark on the left edge of the left page.





文庫三

十三

文庫三

十三

御膳手



如來の如

おのれおのれ

おのれおのれ

おのれおのれ  
おのれおのれ  
おのれおのれ



御膳手

御膳手

御膳手

おのれおのれ  
おのれおのれ  
おのれおのれ

おのれおのれ  
おのれおのれ  
おのれおのれ

おのれおのれ  
おのれおのれ  
おのれおのれ



たうめやまをあらたけ

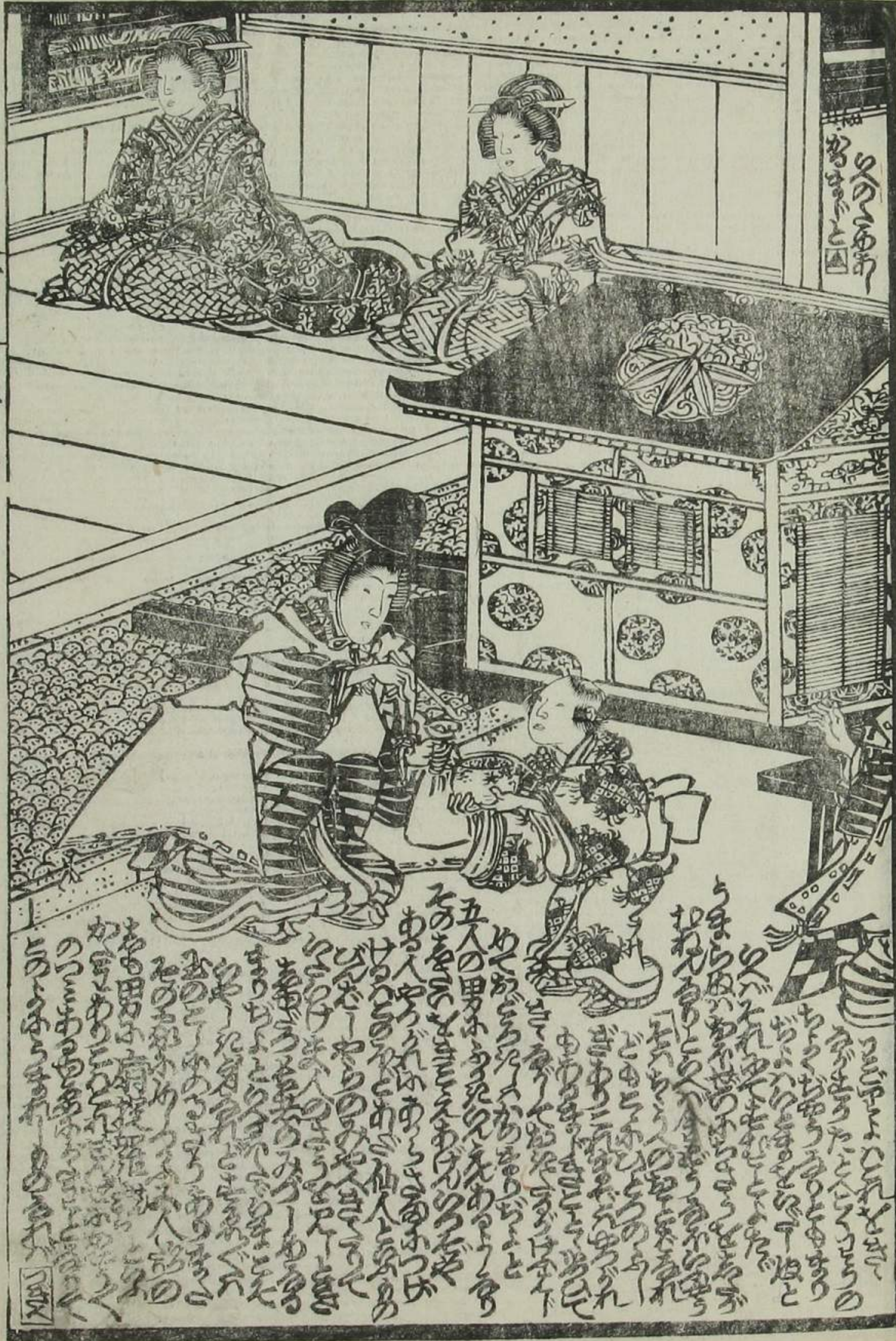
たう



あつちのうらむかかゆら

たう

たう



Vertical text on the left margin of the left page.

Vertical text on the left margin of the left page.



Vertical text on the right margin of the right page.

Vertical text on the right margin of the right page.











萬應亭の歌川國貞画



萬應亭賀作の歌川國貞画

倭文庫

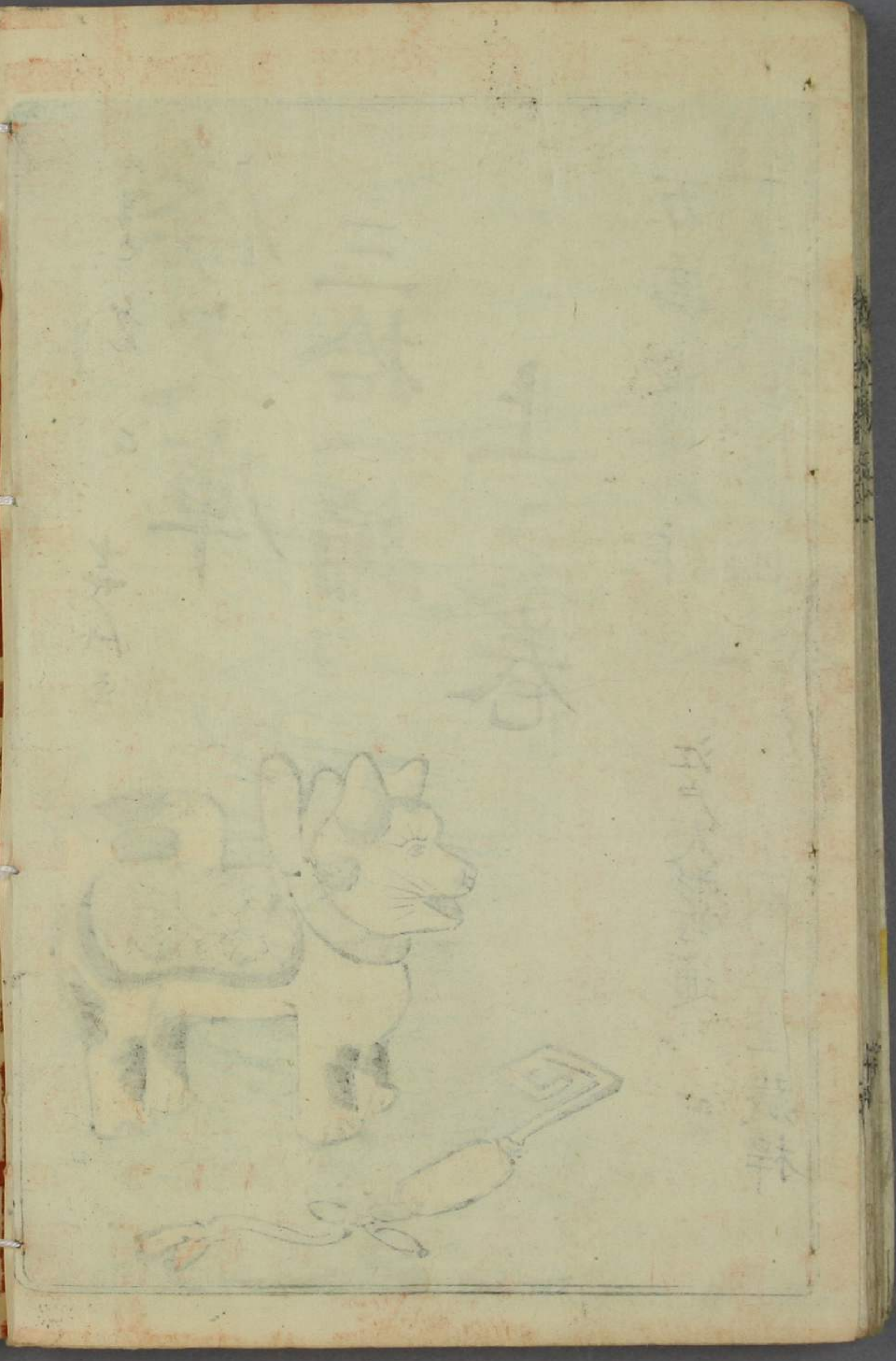
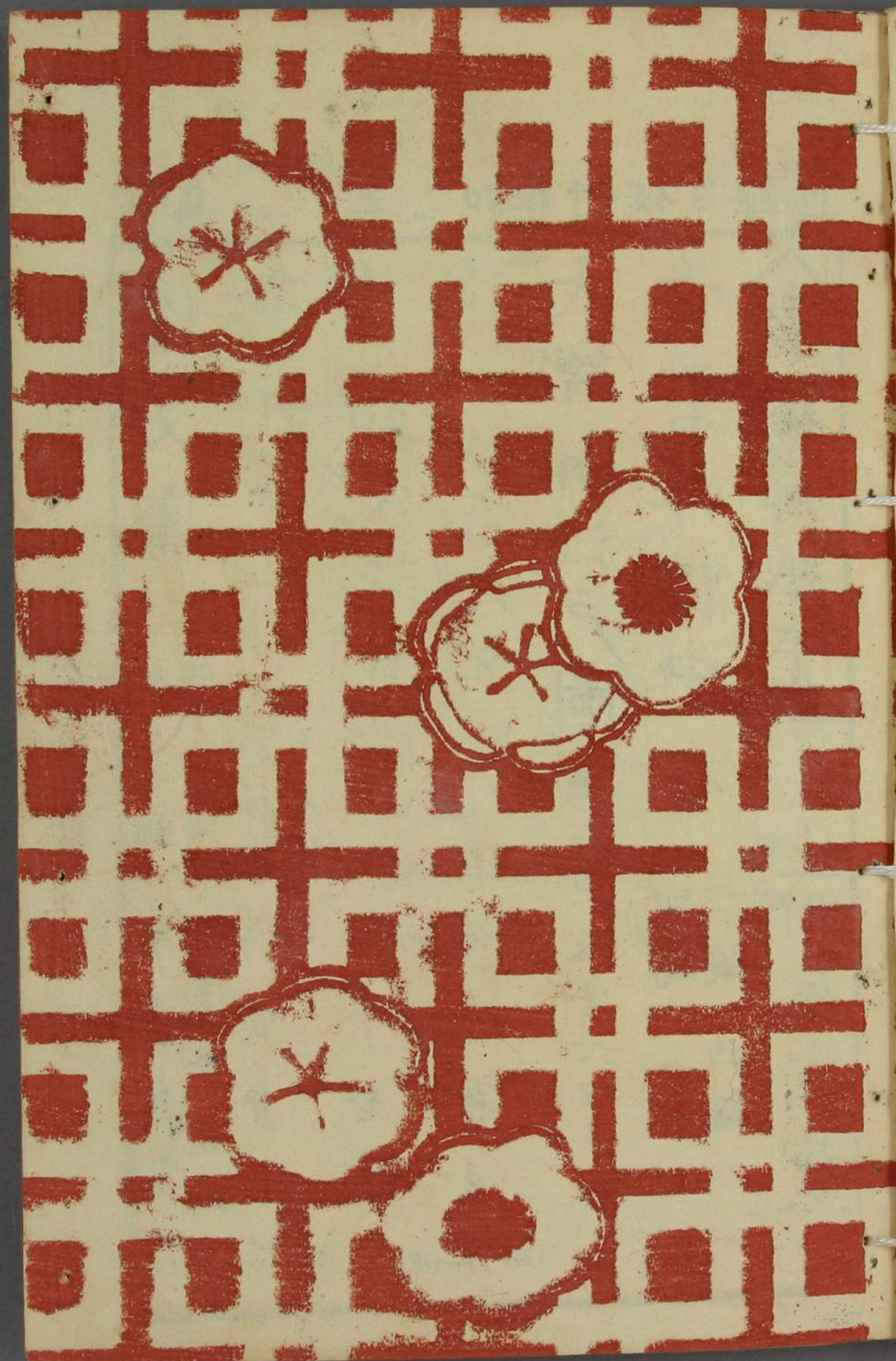
三拾一編

上之卷

萬應亭賀作  
一壽齋國貞画



江戸人形町通  
上州屋重藏梓



嘉永八年乙卯春新板目錄

倭文庫

三十編 三十一編 三十二編 三十三編

万亭應賀作 一陽齋豊國画

重井菱染別小紋

四編 五編

同為永春水画

昔語小栗實說

二編 三編

同松亭金水画

花山吹百人女郎

二編 初編

同柳亭種彦画

大寶御江戸圖

極上摺奉書六枚半續

常磐津懷中本

初編 二編 三編 四編

重繪艸紙本類

上州屋重藏



歌川國貞画

嘉永八年  
乙卯阪月  
新刊

倭文庫三拾二編

万亭應賀作



錦童  
堂版

下



狂歌曲多國書

上



乙并  
形猪

因情

三重はん

百多代

一巻の秘玉

中れ美

家産文庫

三十二編

六 一 七

釋迦八相倭文庫三拾二編叙

夫一見於女人不離三惡道永結三途業何足於一犯  
 定墮無間獄一有女人煩惱の源地獄の使也一度犯  
 ぬれば五百世の間彼を隨て六趣の輪廻を毒蛇の見とも女  
 人を見むと又經文も説れりされども娼妓の止が死と一角仙  
 人四目居士大樹仙人杯の説と視つべし凡流轉生死の業は只  
 淫欲の依りて然らう勇む春の野の身と擯ひ且秋の麻の命  
 と失ふ皆是なり係れぬ茲に五々の菩薩の第二勢至と娼婦と  
 変せ阿難可難の煩惱心と自然と改止せしめし聊彼盛遠  
 と袈裟御前の譚と因縁了る是も亦方便本と云まくの事

嘉永八乙卯年孟春發行 万亭應賀誌



優陀夷大臣









女房の  
 衣通し  
 女房の  
 衣通し  
 女房の  
 衣通し  
 女房の  
 衣通し  
 女房の  
 衣通し



女房の  
 衣通し  
 女房の  
 衣通し  
 女房の  
 衣通し  
 女房の  
 衣通し

女房の  
 衣通し  
 女房の  
 衣通し  
 女房の  
 衣通し

女房の  
 衣通し  
 女房の  
 衣通し  
 女房の  
 衣通し

いかに不承不承と申すに  
 おかしき女房の御座り  
 又不承不承と申すに  
 おかしき女房の御座り  
 ... (transcription of the text in the top left of the right page)



いかに不承不承と申すに  
 おかしき女房の御座り  
 ... (transcription of the text in the bottom right of the right page)

いかに不承不承と申すに  
 おかしき女房の御座り  
 ... (transcription of the text in the top left of the left page)



いかに不承不承と申すに  
 おかしき女房の御座り  
 ... (transcription of the text in the bottom right of the left page)





山崎の  
河恒  
の  
つる

山崎の  
河恒  
の  
つる

山崎の  
河恒  
の  
つる

山崎の  
河恒  
の  
つる









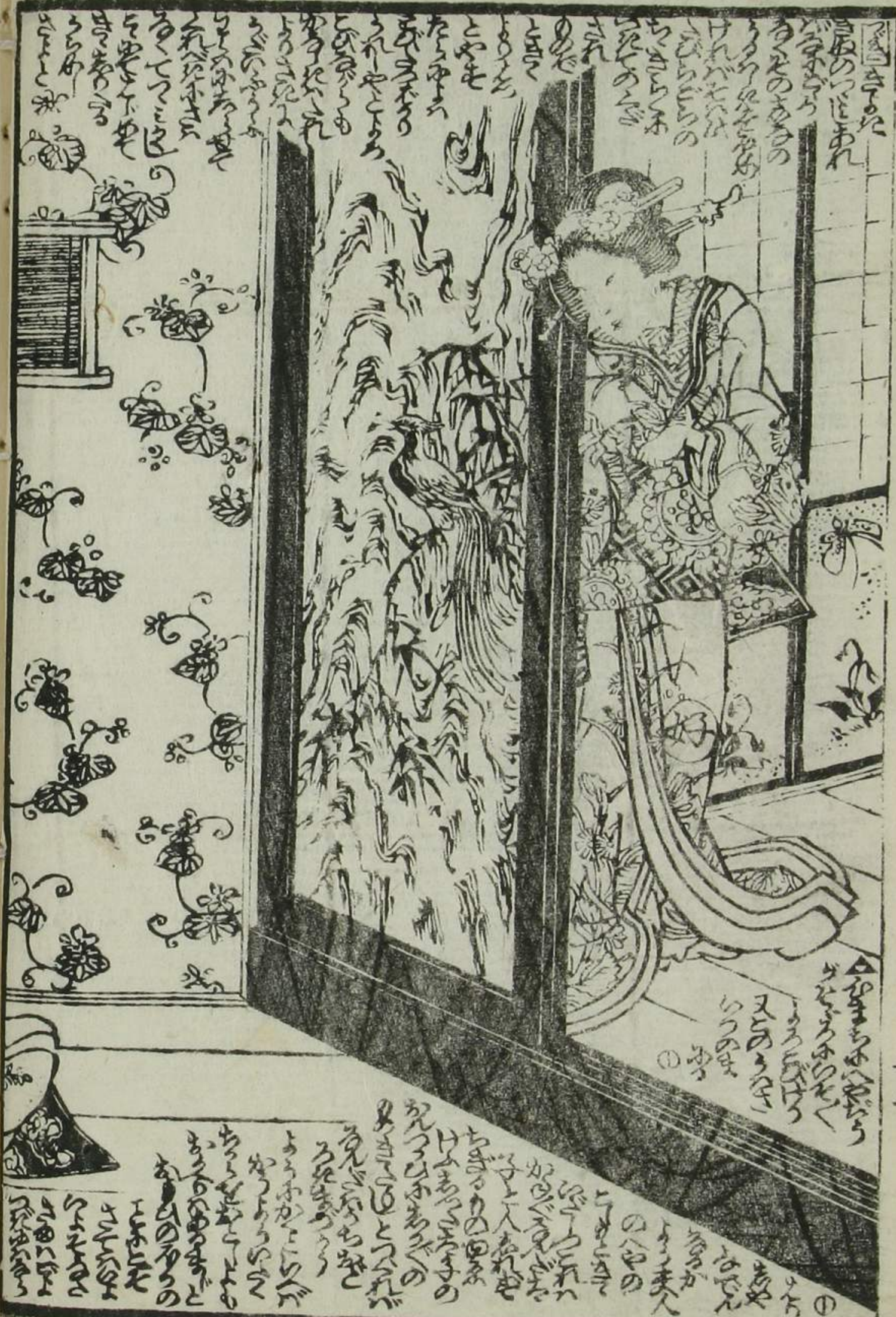






本八冊三十一

十四



本八冊三十二

十五





あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの

あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの

あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの

あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの



あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの

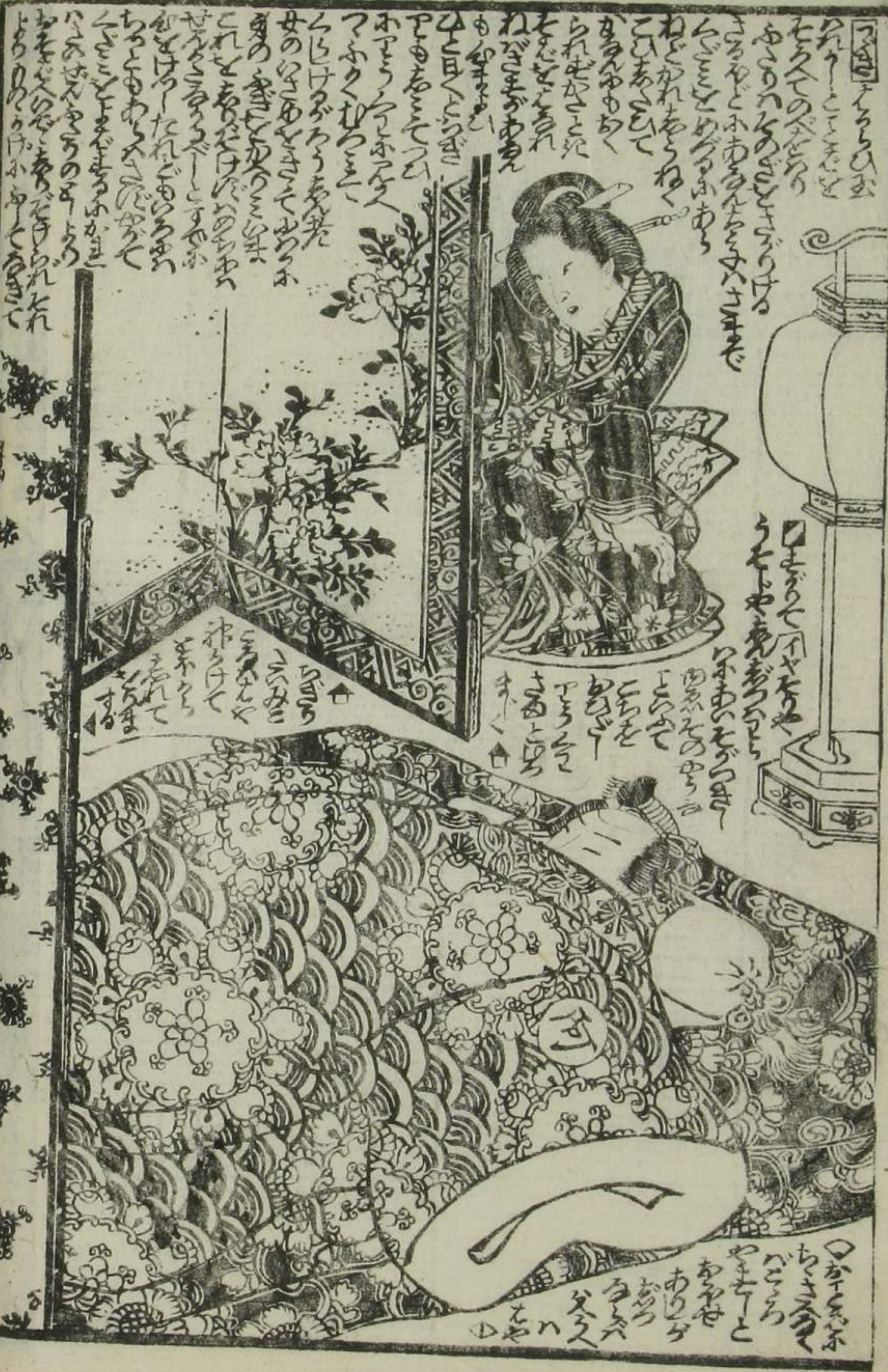
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの

あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの  
あつちのあつちの

徳文庫三十五

三十五





○かきくわ  
ちきま  
むらり  
あつち  
ありや  
るん  
たふ  
△あ

○かきくわ  
ちきま  
むらり  
あつち  
ありや  
るん  
たふ  
△あ

○かきくわ  
ちきま  
むらり  
あつち  
ありや  
るん  
たふ  
△あ

○かきくわ  
ちきま  
むらり  
あつち  
ありや  
るん  
たふ  
△あ



○かきくわ  
ちきま  
むらり  
あつち  
ありや  
るん  
たふ  
△あ

○かきくわ  
ちきま  
むらり  
あつち  
ありや  
るん  
たふ  
△あ





赤井文庫三十一



赤井文庫三十一







嘉永八年乙卯春新板目錄

倭文庫出世双六  
万亭應賀作  
 陽齋豐國画

春遊將棊双六  
同  
 川貞房作

男女役替双六  
同  
 陽齋豐國画

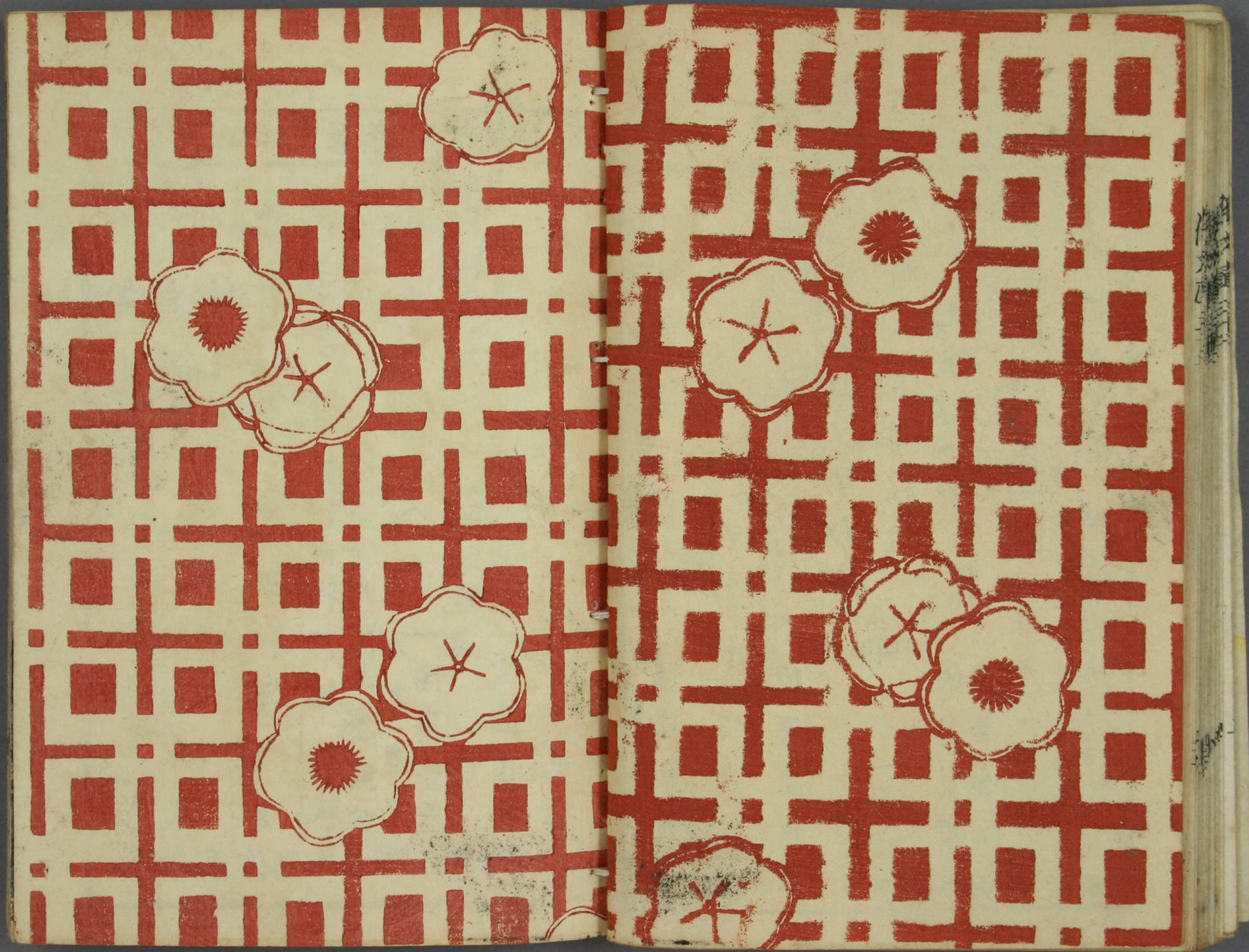
武家奉公出世双六  
同  
 画作

奥奉公出世双六  
同  
 画作

極上摺擬百人一首百枚揃  
一陽齋豐國画  
 一勇齋國芳画

重榮御江戸繪圖  
奉書四枚半續

端唄大汐の竹  
小本上中下の三冊ありてこの三冊を  
 あつらひて一冊にまとむるものあり  
 本



安政三年丙辰春新板目錄

倭文庫 三十四編 三十五編 三十六編 三十七編 万亭應賀作

赤松譚 九編 十編 同如淵外史作

重井菱 六編 七編 同為永春水作

譚柄瑠璃 四編 五編 西澤一鳳作

茶番案文 全冊 万亭應賀作

神代毛糸 三編 四編 同勇齋國芳作

重本類錦繪 人形 上州屋重藏



歌川國貞画



倭文庫三拾三編

万亭應賀作



狂歌曲多阿圖

錦重堂版

下

上

應賀化

國貞臣

卯年

新得史



倭文庫三拾三編下卷

錦重堂梓

一景二句

釋如八相倭文庫三拾三編

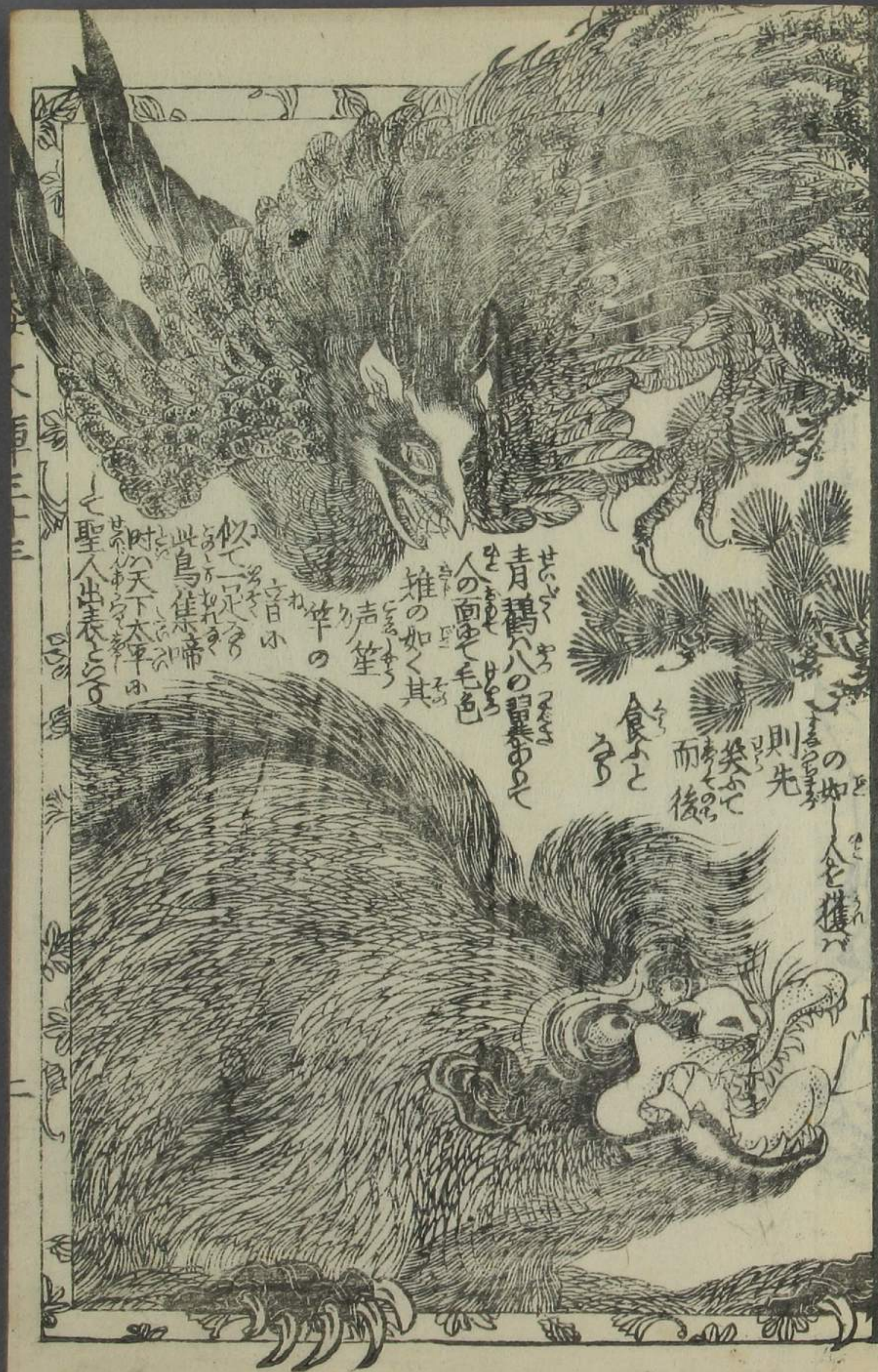
夫女の三十三歳の二三と云語因りて大厄年と俗に稱す外に據  
と當日不知る三拾三編の鬼子母の大厄穢清めて孩子と護る發  
起と誌せど鬼子母の説の顯正論又鬼子母經及び寄歸傳並  
小陀羅尼集等皆異説る多故其撮要と再戲して吉祥果と  
石榴小比九色の鹿を青月鶴と贅詫過言識好むを味ひ知奴  
が仏夜目良滅の八百著漸出さるの贅でる唯笑談の序めを  
飽て懐箇呑て煙草より咽み支る次編の永さ未君く是くら  
感尽く要天竺まで行程の道州双紙の拙きとあらで三十三  
編廻りて伏枕と云いしをす

嘉永八年  
乙卯新春

万亭應賀誌



九 一 卅



竹  
 三  
 三





佛文屋三十三







うまのあつて  
つたてのあつて  
それほまじれ  
ゆてまじれ  
ひとあつて  
こゝろのあつて

かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの

かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの

かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの  
かゝるもの

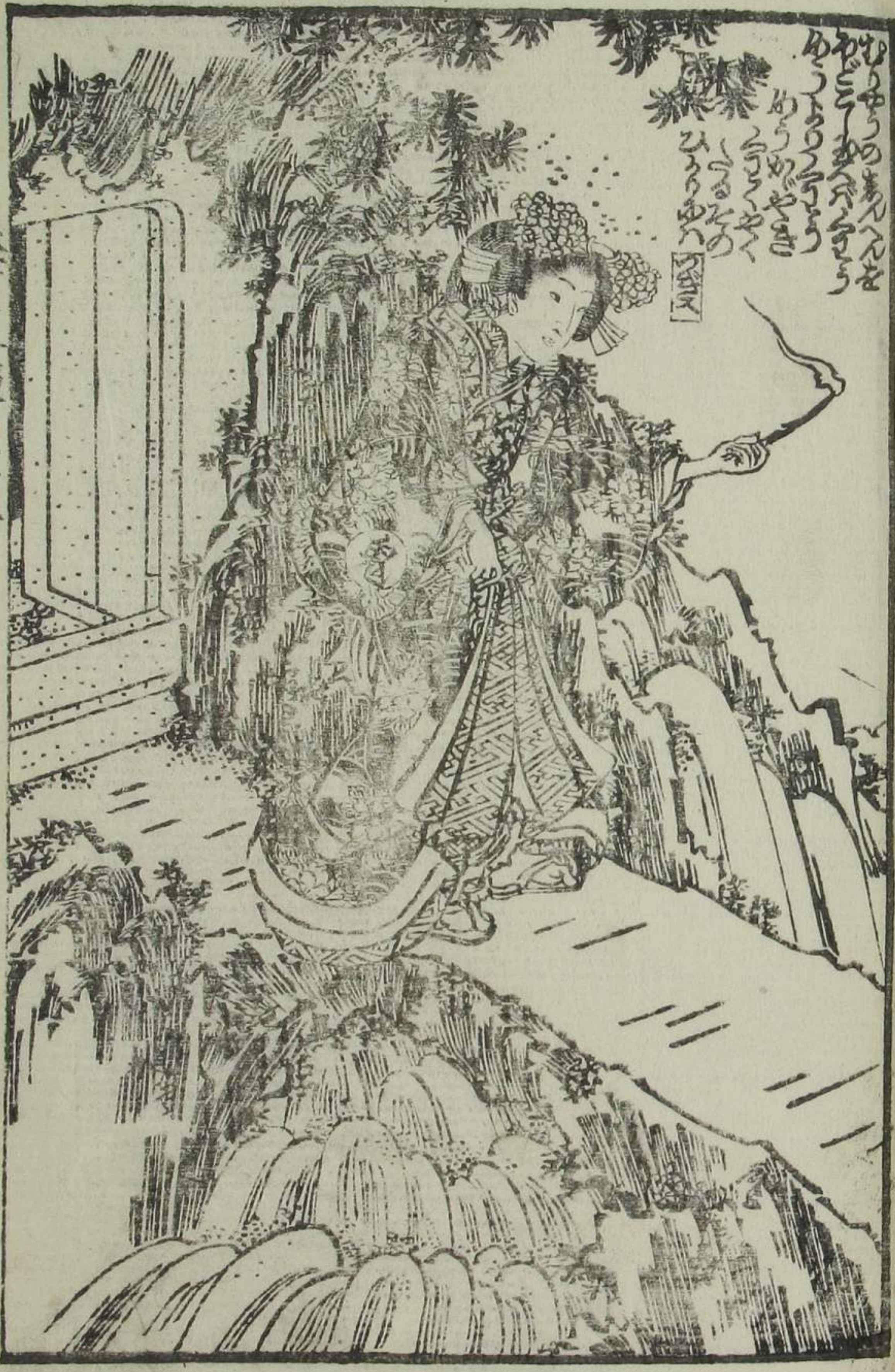
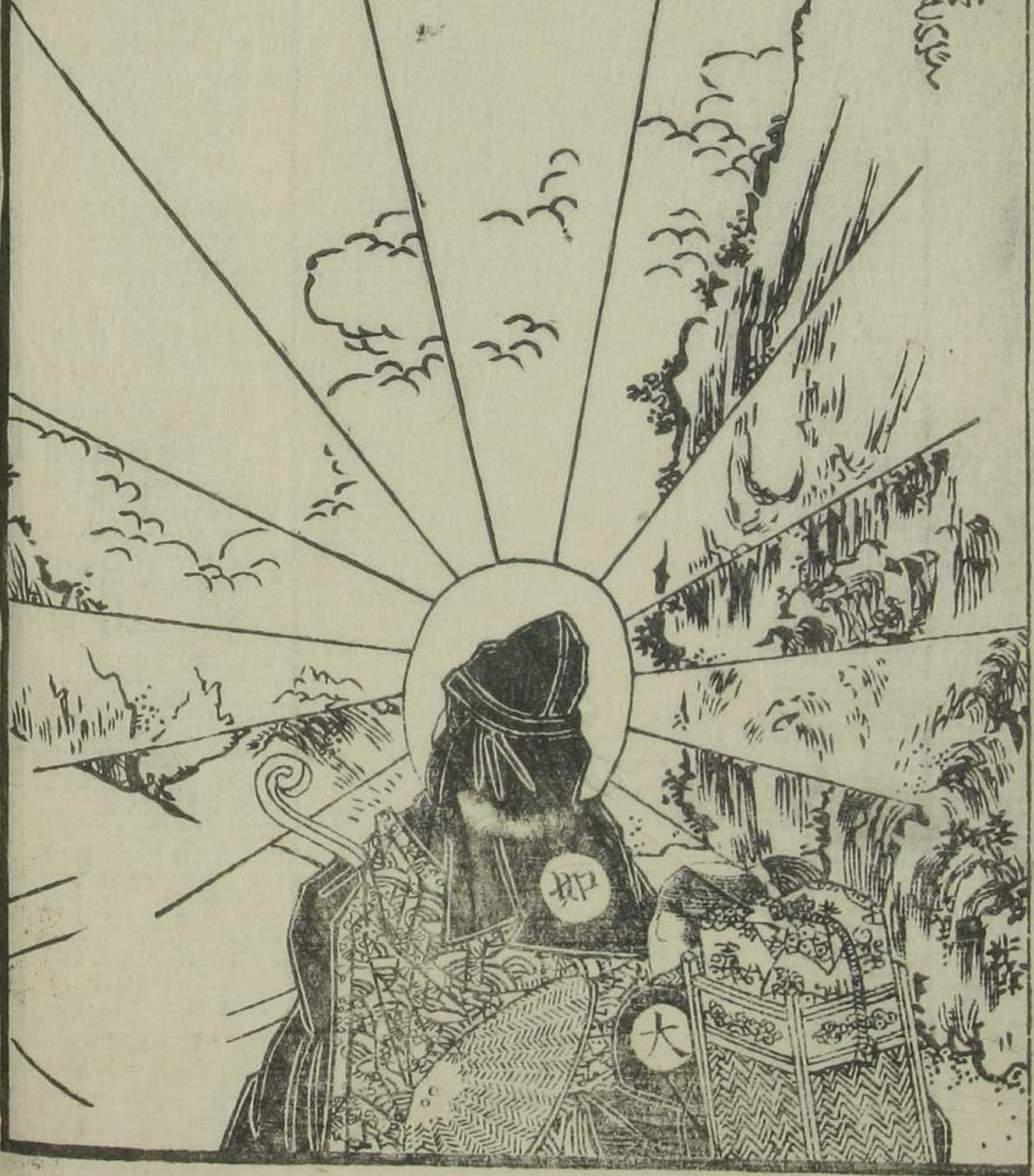








ひとと多きけり  
らせんとそのゆくせんか  
むきめのかせつあらしむ  
つゆのちりてんまのわれか  
そのひろきをき  
まゆいませぬ  
てたごころるぬ  
入下りりゆき  
Iをえんまてあよと  
ことなせりく  
めいせむかたう  
もあうあやして  
そのけのえかこつれ  
さるみやまとのひ  
ことふちごあやしの  
つうろたえてる  
あるにからあや  
あるとこれる  
さりのこと  
るまをり  
身をへんとて  
すあらんとおあつ  
ゆてまごころくたち  
まち天あよの上を  
るふゆこのかへ  
ごりゆくさるや  
如あえんまてり  
あくとまてり



ひろのあえんを  
わたりあやさ  
ゆつりつう  
ゆめやき  
るまの  
ひろの



● 如來の御姿  
 如來の御姿を  
 見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿

● 如來の御姿  
 見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿

● 如來の御姿  
 見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿

● 如來の御姿  
 見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿

大女入道三十三

十一

應 賀 作 國 貞 画

● 如來の御姿  
 見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿

● 如來の御姿  
 見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿

● 如來の御姿  
 見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿

● 如來の御姿  
 見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿  
 を見るに如來の御姿

大女入道三十三

十一





如来のまゝに...  
このまゝに...  
如来のまゝに...  
このまゝに...

ひんがらひ...  
ひんがらひ...  
ひんがらひ...  
ひんがらひ...



ひんがらひ...  
ひんがらひ...  
ひんがらひ...  
ひんがらひ...

あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ

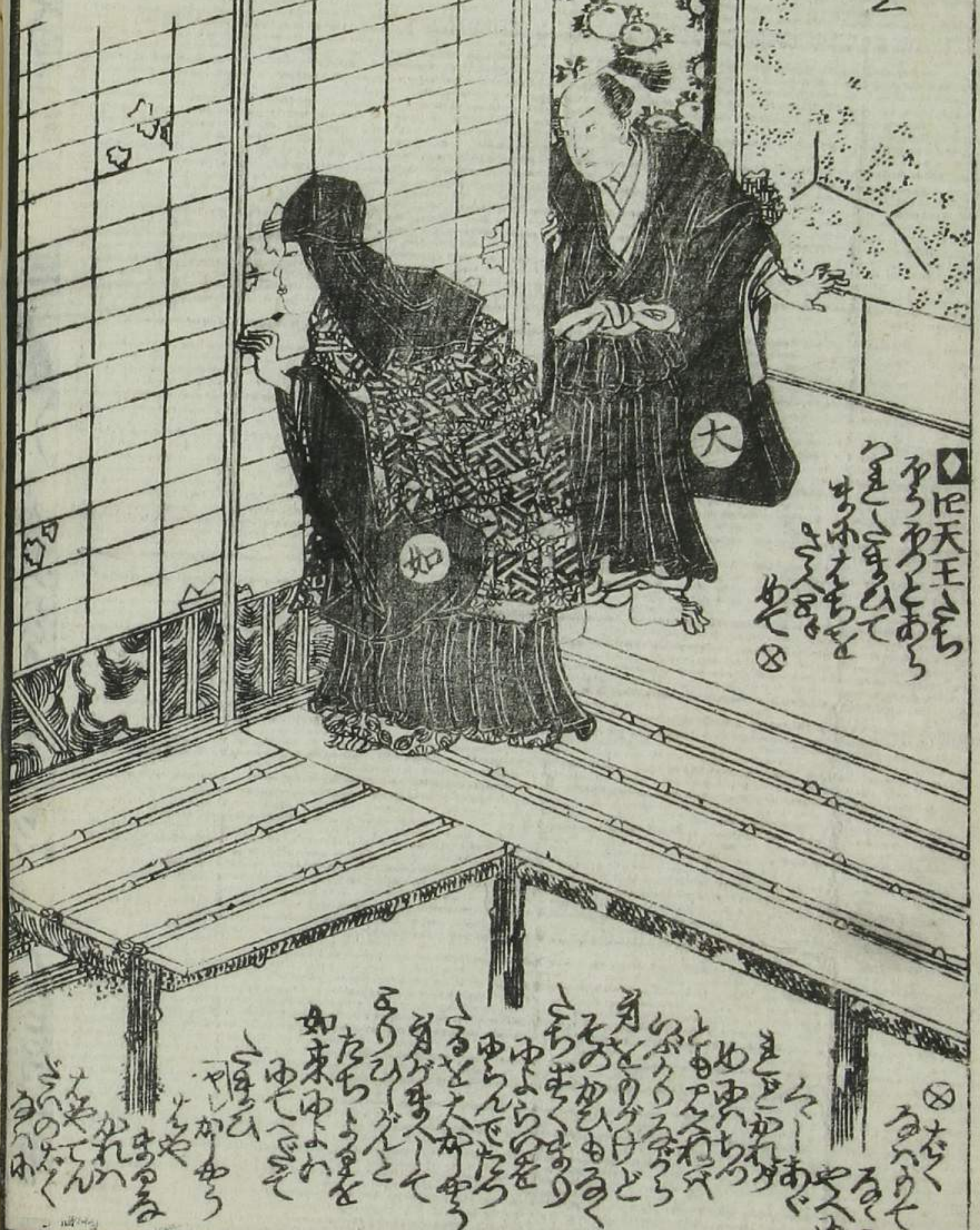


あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ

木村文庫三十三

十四

あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ



あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ  
あまのこころを  
よめしめしめしめ

木村文庫三十三

十九

天皇大王...  
 天皇大王の御孫...  
 天皇大王の御孫...  
 天皇大王の御孫...  
 天皇大王の御孫...



天皇大王...  
 天皇大王の御孫...  
 天皇大王の御孫...  
 天皇大王の御孫...

天皇大王...  
 天皇大王の御孫...  
 天皇大王の御孫...  
 天皇大王の御孫...  
 天皇大王の御孫...



天皇大王...  
 天皇大王の御孫...  
 天皇大王の御孫...  
 天皇大王の御孫...  
 天皇大王の御孫...





何れとありては  
 けしきとありては  
 つとよりさあまた  
 ありてはありては  
 せしきとありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては

ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては

ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては

ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては

ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては  
 ありてはありては

物語の巻之三  
 二二

二二









一壽齋國貞画  
 此の神像は、天孫降臨の神代卷に  
 記述され、其の御姿は、神代卷に  
 記述される如く、御衣は、天孫降臨  
 の時、天孫の御衣を穿せられたり  
 とす。其の御姿は、神代卷に記述  
 される如く、御衣は、天孫降臨の  
 時、天孫の御衣を穿せられたりと  
 す。其の御姿は、神代卷に記述さ  
 れる如く、御衣は、天孫降臨の時、  
 天孫の御衣を穿せられたりとす。



萬壽應賀作の 一壽齋國貞画

吉也

座の 登

耐無古

一字三編上の表

乙卯表

一壽齋 玉

此の神像は、  
 上ノ神代卷に記述



安政三年丙辰春新板目錄

倭文庫出世双六 一万亭應賀作

春遊の将碁双六 同 歌川貞房作

男女役替双六 尚年のあやも極 同 一陽齋豊國画

大寶御江戸圖 極上摺 奉書六枚半續 一陽齋豊國画

清元稽古本 初編 二編 出版

常磐津懐中本 初編 二編 三編 四編 退と出板仕

極上摺擬百人一首 皇徳御歴百枚抄と奉書 仕立ありしもの仕立ありしもの 百枚揃

倭文庫

